

## 八丈島の火山活動解説資料（令和4年2月）

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図1）

楊梅ヶ原監視カメラ（西山山頂の南南東約5km）による観測では、西山山頂部に噴気は認められません。

#### ・地震や微動の発生状況（図2-①②、図3）

今期間、八丈島周辺を震源とする火山性地震及び火山性微動は観測されていません。

#### ・地殻変動の状況（図2-③、図4、図5）

GNSS連続観測及び傾斜計による観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。



図1 八丈島 西山山頂部の状況（2月15日、楊梅ヶ原監視カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)）でも閲覧できます。

今回の火山活動解説資料（令和4年3月分）は令和4年4月8日に発表する予定です。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び東京都のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図50mメッシュ(標高)』『数値地図25000(行政界・海岸線)』を使用しています。

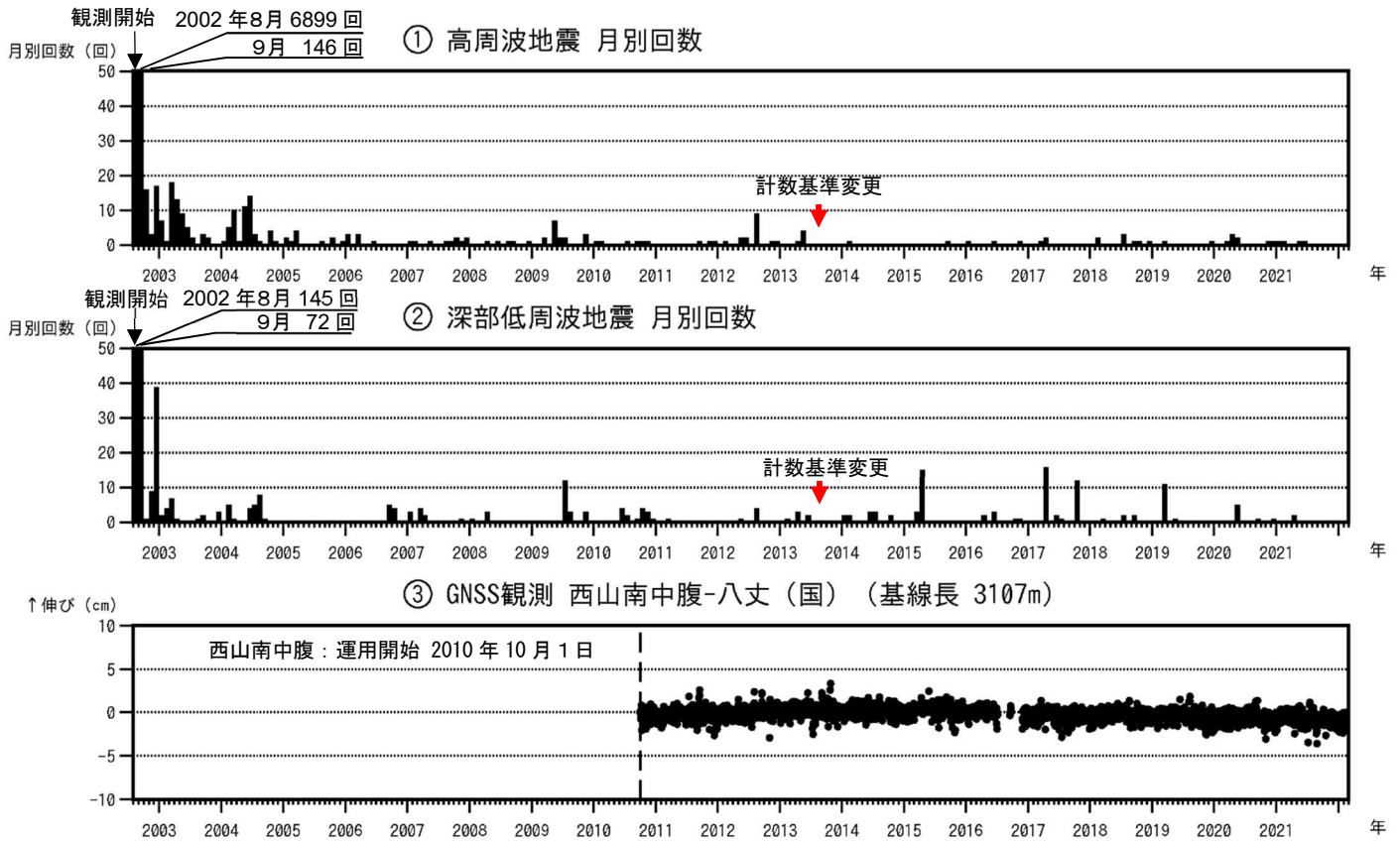


図2 八丈島 火山活動経過図 (2002年8月13日～2022年2月28日)

- ①、② 地震回数の計数基準は以下のとおり
- 2013年8月31日まで八丈島三根 上下動振幅  $5 \mu\text{m/s}$  以上、S-P 時間 3秒以内
  - 2013年9月1日 から西山南東山麓 上下動振幅  $2 \mu\text{m/s}$  以上、S-P 時間 3秒以内
- ③ 図5の基線③に対応しています。グラフの空白部分は欠測を示しています。  
(国)：国土地理院

- ・地震活動は低調な状態で経過しています。
- ・GNSS 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

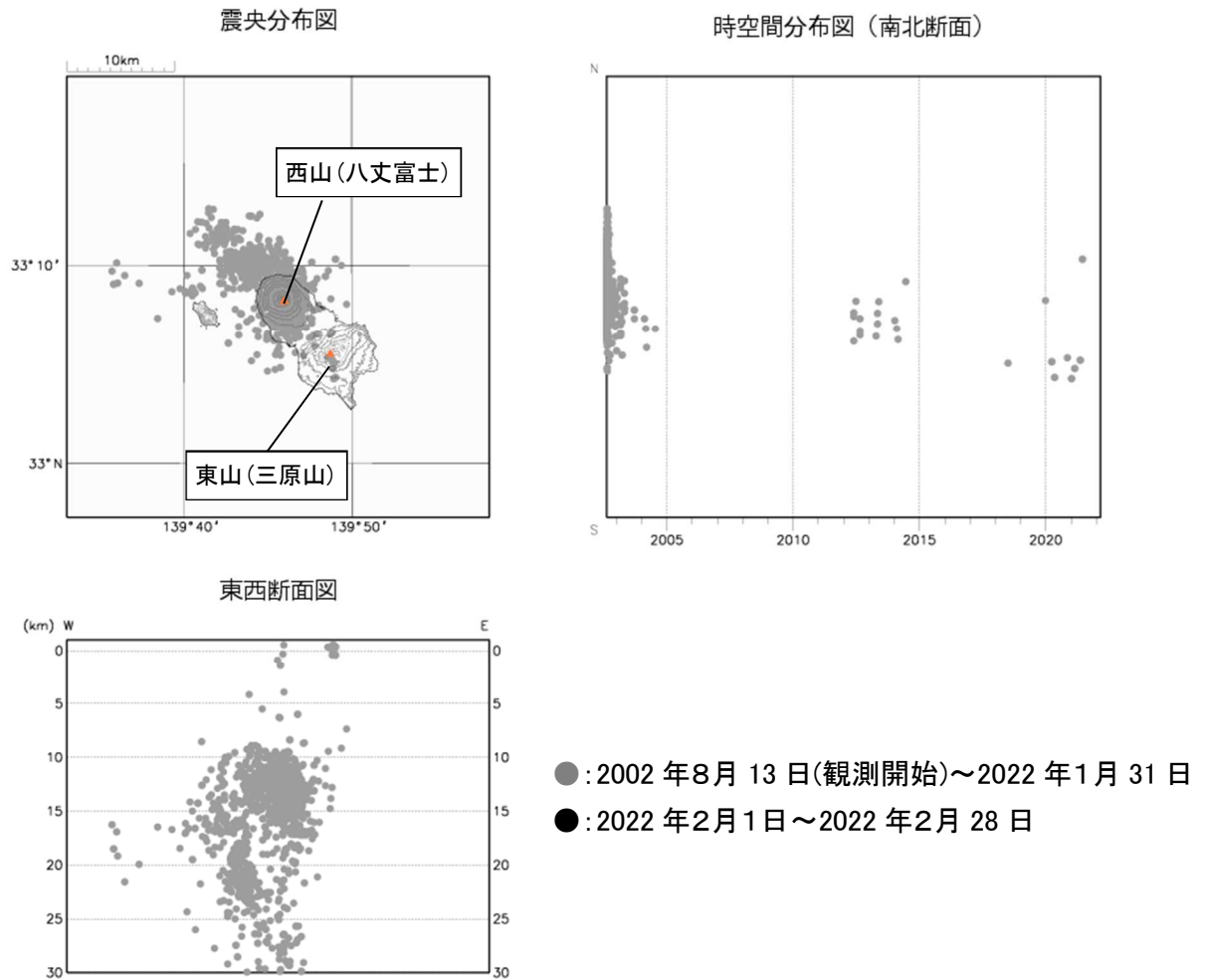


図3 八丈島 震源分布図（2002年8月13日～2022年2月28日）

- ・今期間は、八丈島周辺を震源とする火山性地震及び火山性微動は観測されませんでした。

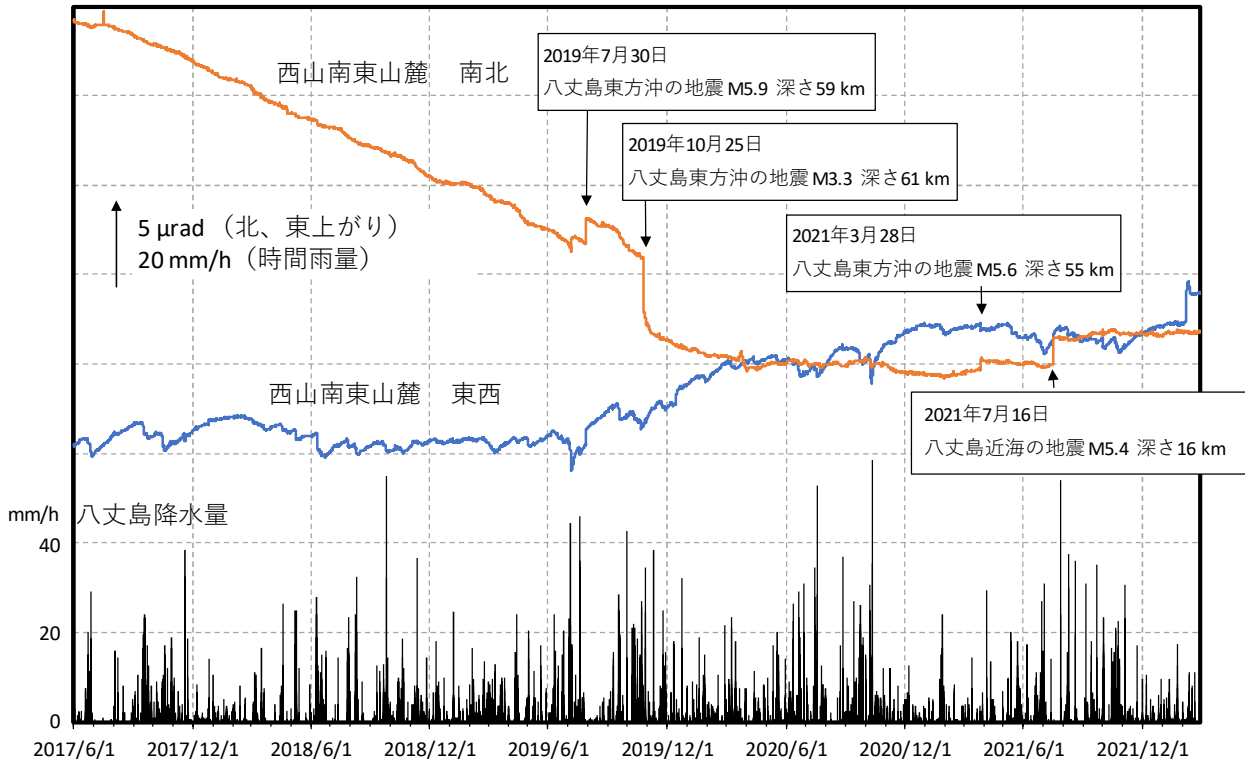


図4 八丈島 西山南東山麓観測点の傾斜変動（2017年6月1日～2022年2月28日）

・火山活動によるとみられる変動は認められません。



図5 八丈島 観測点配置図

GNSS基線③は図2の③に対応しています。  
 小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(国)：国土地理院  
 (防)：防災科学技術研究所  
 (都)：東京都